

夏休みを機会に生成 AI の利用について考えてみませんか？

生成 AI は「コンテンツを生成するツール」から「社会インフラ」へと進化し、教育、医療、製造、行政など多様な分野で活用が進んできています。

令和 7 年 6 月 13 日閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2025」では、教育 DX の項目において、「子どもたちの個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現及び教職員の負担軽減に向け、国策として推進する GIGA スクール構想を中心に、生成 AI 活用も含めて教育 DX を加速する。」と示されています。

今、学校教育現場においては、生成 AI の適切な利活用を支援するためのガイドライン（指針）に基づいた校務や学習活動での実践が始まっています。

ぜひ、文部科学省や当センターの「生成AI活用研修ガイドブック」等を通じて、教育活動のどのような場面でどのように生成 AI を利用できるかについて確認し、活用のイメージを膨らませていきましょう。



文部科学省 web ページ
学校現場における生成 AI の利用について
二次元コードからアクセスできます。

生成AI活用研修ガイドブック第2.0版 はじめよう！生成AI～教職員による授業・校務での活用～校内での研修会にいかがですか？

M ナビ新聞第34号でも紹介しましたが、当センターで令和 6 年度に公開した「生成AI活用研修ガイドブック第2.0 版」は、もうご覧になりましたか？

右のスライドのようにガイドブックでは、生成 AI の活用事例として、「生徒の実態に合わせて、オリジナルの数学の演習問題の原案を作成してもらう」など授業に関して16事例、校務に関して13事例の合わせて29事例が掲載されています。

作ってもらう 教えるもらう 手伝ってもらう	習熟度に応じた演習問題を作ってもらう（数学）
活用の概要 - 数学の一次方程式に関する問題を作ってもらいました。 - これまでは、教科書や問題集などの問題に取り組み、足りない部分は教員がオリジナルの演習問題を作成することが多かったと思います。今回は生徒の実態に合わせて、オリジナルの演習問題の原案を作成してもらいました。 - 使用した生成 AI Gemini	活用事例（プロンプトと回答の例） 私は、中学1年生の数学を担当する教員です。一次方程式の学習を進めており、文章問題を作成したいと思っています。実生活に関する内容で、一次方程式を使った文章問題をレベル1（易）、レベル2（中）、レベル3（難）で5つずつ作成してください。 ・レベル1（易） 1. お菓子屋さん：クッキーを1個a円、チョコレート1個b円とします。クッキーを3個、チョコレートを2個買ったときの代金が510円でした。チョコレート1個の値段が150円の時、クッキー1個の値段を求めなさい。 2. 図書館：1冊の本を借りるのに、最初の3日間は無料、4日目以降は1日あたりc円かかる図書料があります。ある本を8日間借りて、合計で160円払いました。1日あたりの料金c円を求めなさい。 （中略） ・レベル2（中） 1. 携帯電話：ある携帯電話会社の料金プランでは、基本料金が月額1000円、1分あたりの通話料金がx円です。ある月に50分通話して、料金が2500円でした。1分あたりの通話料金x円を求めなさい。 2. ペットショップ：犬の餌を1袋aグラム、猫の餌を1袋bグラムとします。犬の餌を3袋、猫の餌を2袋買ったところ、合計で5kgでした。猫の餌1袋が1.5kgの時、犬の餌1袋のグラム数aを求めなさい。 （中略） ・レベル3（難） 1. アルバイト：時給がa円のアルバイトを、ある人が5時間働きました。さらに、別の日に時給がb円のアルバイトを3時間働いたところ、合計で8000円稼ぎました。時給a円のアルバイトの時給が時給b円のアルバイトの時給の2倍の時、時給b円を求めなさい。 （中略） これらの問題を参考に、生徒の学力に合わせて問題を作成してみてください。

宮城県総合教育センター
Miyagi Prefectural General Education Center

生成 AI の理解から、使い方、活用事例まで幅広く研修することができる内容となっています。夏休みを機会に、校内や先生方それぞれの研修において、ご活用いただき、教育 DX 推進に役立ててください。



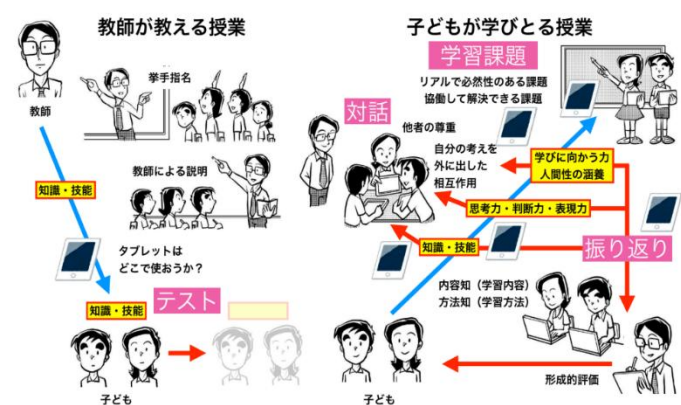
宮城県総合教育センター web ページ
生成 AI 活用研修ガイドブックは、
二次元コードからアクセスできます。

小・中学校対象の令和7年度情報化推進リーダー研修会を実施しました。

令和7年7月15日(火)と16日(水)の2日間、情報化推進リーダー研修会を実施しました。県内の希望する小・中学校の情報化推進リーダーと市町教育委員会担当者、併せて173名が受講しました。

午前の部では「教育DXによる授業改善と教育DXの組織的な推進」と題して、**熊本大学大学院教育学研究科 特任教授 前田康裕先生**をお招きし、次のようなお話をいただきました。

- ・ 令和の日本型教育が目指すもの
- ・ 学習方略とメタ認知
- ・ 教師の学び方改革



研修会の説明スライドの一部抜粋

お話の中で、思わずメモをとったキーワードを紹介します。

- ・ 「子どもがどう学ぶのか」に主軸を置いた授業づくり
- ・ 「従来の授業+ICT」ではなく、ICTを使って学び方に変化を起こす
- ・ 子どもが学びとる授業
- ・ 問いを立てるとは「そもそも、〇〇ってなんだろう?」「なぜ、〇〇なんだろう?」「どうやっているのだろう?」というように、考えるポイントや目の付け所に気付くことができること

- 授業の形も時代に合わせて変化していかなければいけないのだと感じました。また、「学習者を育てる」という言葉が非常に印象に残りました。盛りだくさんの内容だったので、もう一度自分なりに噛み砕いて理解して学校に共有したい。(中学校)
- 自分がこれまで行ってきた授業を見直す機会となりました。児童が能動的に学び続ける基礎を築けるような指導を考え、実践していきたい。

受講者の感想(アンケートより一部抜粋)

多くの受講者の感想から、前田先生のお話を通じて、**教える専門家から学びの専門家へと教師の役割は変化していることを改めて学ぶ機会となったことが分かります。**

午後の部では、県教育委員会の各課室から小・中学校を対象とした行政説明を行いました。

- ・ 教育企画室からは、Google Workspace for Education 運用管理について、学校内で改めて共有しておくといふ内容についての説明。
- ・ 義務教育課からは、みやぎ「学びのDX」推進事業の具体的内容として、①動画配信、②直接支援、③成果共有の3つの項目についての説明。
- ・ 総合教育センターからは、教育DX訪問支援研修会(R7年度からスタート)、生成AI活用研修ガイドブック、Mナビ新聞、MナビTV、指導主事派遣事業についての説明。
- ・ 事前に教育DXについて取り組みたいことを参加者に回答いただいていた内容を参考にしながら、情報化推進リーダーとして校内でどのような取組を進めていけば良いのか、グループで話し合いました。

「動画で分かる授業改善×学びのDX」は、ご覧になりましたか?

「令和の日本型学校教育」の実現に向けて**県内小・中学校で実践されたモデル授業**が動画配信されています。

生成AIを利用した学習を展開した中学校社会科の授業、クラウド環境などを活用して、実験方法を考案し、調べる学習活動を展開している小学校理科の授業、また、校務に関するDXの取組も動画で視聴することができます。

授業改善に結び付く、必見の内容です。

みやぎ「学びのDX」推進事業
動画で分かる
『授業改善×学びのDX』

▶ 授業DX動画

- ・ 岩沼南小 5年生理科
- ・ 岩沼北中 2年生社会科
- ・ 古川第一小 2年生国語科
- ・ 古川第一小 6年生理科
- ・ 津谷中 1年生音楽科
- ・ 津谷中 2年生保健科

▶ 校務DX動画

- ・ 岩沼南小
- ・ 岩沼北中

ここから ▶ みやぎ「学びのDX」推進事業

宮城県教育庁 義務教育課

※義務教育課みやぎ「学びのDX」推進事業で配信されている動画は左記の二次元コードからご覧ください。

(編集後記) 今号は、各校で「教育DX」を話題にして授業改善を進めるための内容と考えました。職員会議や校内研修会での話題提供で活用できる内容としましたので、ぜひ御活用ください。[第42号担当:大泉]